



「来年」に向けて「今」やっておくと お得!

# 冬期の圃場管理 ~「何もしない」は「もったいない」! ? ~

## その一 雑草対策

塊茎で増える雑草(オモダカ、クログワイ等)

→塊茎は寒さ、乾燥が弱点です!

冬に 深めに耕起して寒さに当ててみましょう!  
(複数年行うことで数を減らせる)

## その二 地力,土作り

### ① 「堆きゅう肥の施用」

→効果: 養分を豊富にする、土を軟らかくする  
有益な微生物が増えるなど…!

→散布適量(水田10a当たり) 牛糞:1~2t、豚糞:0.5~1t、鶏糞:0.3t

### ② 「土壌改良資材の施用の効果」

→効果: 堆きゅう肥同様 土壌の物理性を良好にする

#### ○稲作で欠かせない要素「ケイ酸」について

稲わらをすき込まず圃場から持ち出している場合は、ケイ酸が不足しがちです。堆肥や土壌改良資材で補いましょう。

ケイ酸の効果: 光合成能力の向上、耐倒伏性向上、食味向上など

※特に地力対策は、肥料や薬剤の価格が高騰している  
事からより重要性が増しています。

これを機に試してみるのはいかがでしょうか?



## ○冬場は圃場回りも見直すチャンス!!

鳥獣害対策の金網や電柵のチェック、農業機械の整備など日頃出来て  
ないことはありませんか? 来年に向けた準備も大変重要です。